

前足部切断者へ新しいアプローチ

アラード社カーボン製短下肢装具ブルーロッカーを前足部切断者への義足として利用できます。
素材であるカーボンコンポジットとその製品形状の特徴を利用することにより多くのメリットを享受できます。

- 推進力の復元
- 歩行スピードの向上
- 断端末部での摩擦の軽減



【ユーザーからのコメント】

- ◆ 肩が落ちることなく、左右バランス良く歩行できる。
- ◆ カーボンの反発によるパワーを感じる。
- ◆ 疲れないので、積極的にガンガン歩ける。
- ◆ 見た目にも左右の足の運びに違和感が無く、家族からも喜ばれた。
- ◆ 踏みきれる感覚がある。
- ◆ 体重移動の途中で力が抜ける感覚が無い。

		
製品名	ブルーロッカー-2.0	ブルーロッカー 2 1/2
踵の差高	12~16mm (サイズによる)	7mm



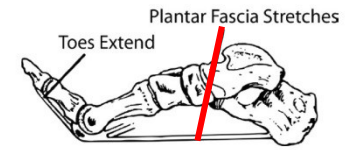
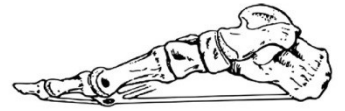
株式会社 田沢製作所 マーケティング部直通ダイヤル

〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28 メゾンドール本郷2F TEL.03-3812-6481 FAX.03-5804-8595

前足部切断で生じる問題

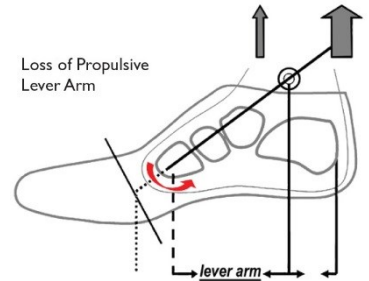
十分な推進力を得る事ができない

ウィンドラス機構が機能していると、MP関節伸展に伴う足底腱膜の巻き上げにより足部のアーチが緊張し、足部の剛性が高まり推進力が増加します。しかし前足部切断のケースでは、この機能が有効に働かないため、十分な推進力が得られません。



断端末部に大きな摩擦が生じる

健常者の足部ではレバーアームの長さや下腿のバランスが保たれているので、摩擦は生じません。しかし、前足部切断のケースでは、レバーアームの長さが短くなり、下腿の力が勝り、断端末部に摩擦が生じ胼胝等の原因になります。

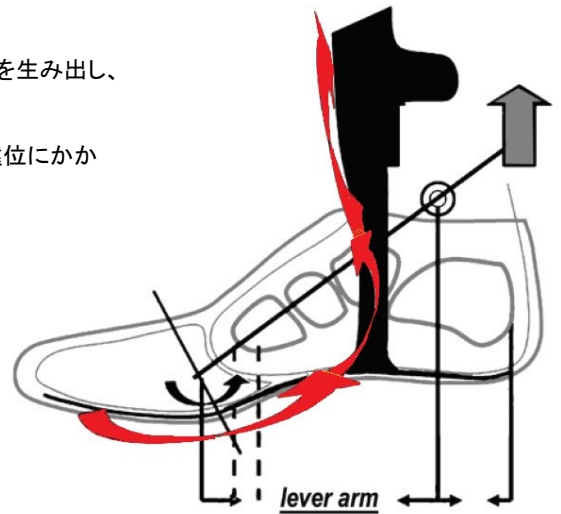
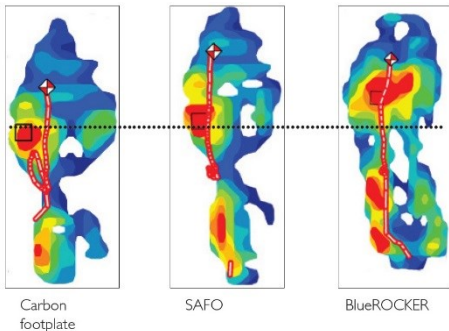


ブルーロッカーを使用すると

推進力の復元と断端末部の摩擦を軽減します

フットプレートと脛骨前面のシェルがレバーアームの長さを補完し、反発力を生み出し、十分な推進力を得る事ができます。

また、つま先まで長さがあるフットプレートにより、圧力がフットプレートの遠位にかかり、断端末部での摩擦を軽減させます。



切断部位によっては、健足との脚長差や底屈可動域を考慮しソケットを製作して下さい。

